

厚生労働省北海道労働局発表  
平成29年2月16日

【担当】

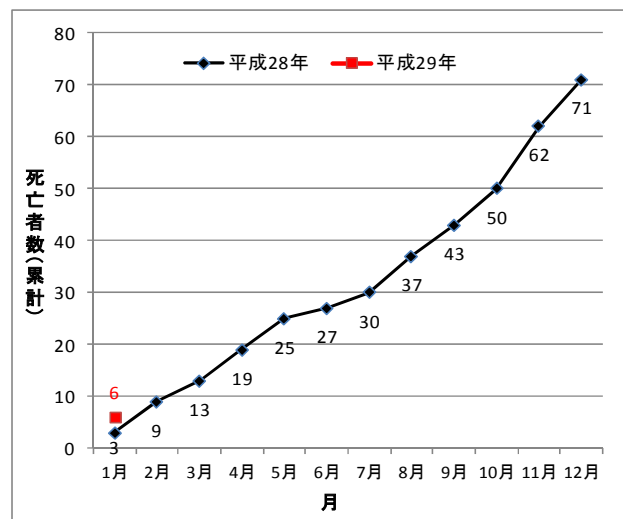
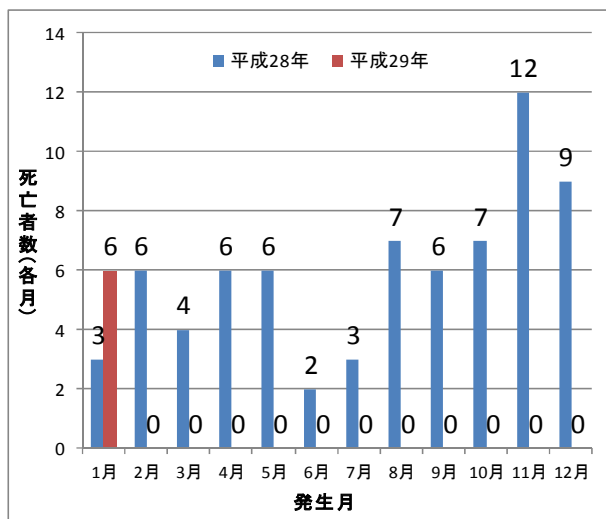
北海道労働局労働基準部安全課  
課長 工藤 英司  
安全専門官 渡邊 哲也  
電話：011-709-2311（内3557）  
FAX：011-756-0056

## 死亡労働災害は前年同期比3人増加 死傷労働災害は前年同期比1.4%増加

— 平成29年の北海道内の労働災害発生状況（平成29年1月末現在速報値） —

### 1 労働災害による死亡者数（1月）

平成29年の道内の労働災害による死亡者数は、平成29年1月末現在速報値で6人と、前年と比べ3人の増加となっています。



#### （1）業種別の状況【資料1、2】

業種別に見ると、「製造業」が2人（全体の33.3%、前年同期比1人増）、「建設業」が1人（全体の16.7%、前年同期比1人減）、「陸上貨物運送事業」が1人（全体の16.7%、前年同期比1人増）、「警備業」が1人（全体の16.7%、前年同期比1人増）、「その他」が1人（全体の16.7%、前年同期比1人増）となっています。

#### （2）事故の型別の状況【資料3】

災害を事故の型別で見ると、「はさまれ・巻き込まれ」が2人（全体の33.3%）、「墜落・転落」、「崩壊・倒壊」、「おぼれ」及び「交通事故（道路）」がそれぞれ1人（それぞれ全体の16.7%）となっています。

## 2 労働災害による死傷者数（1月）

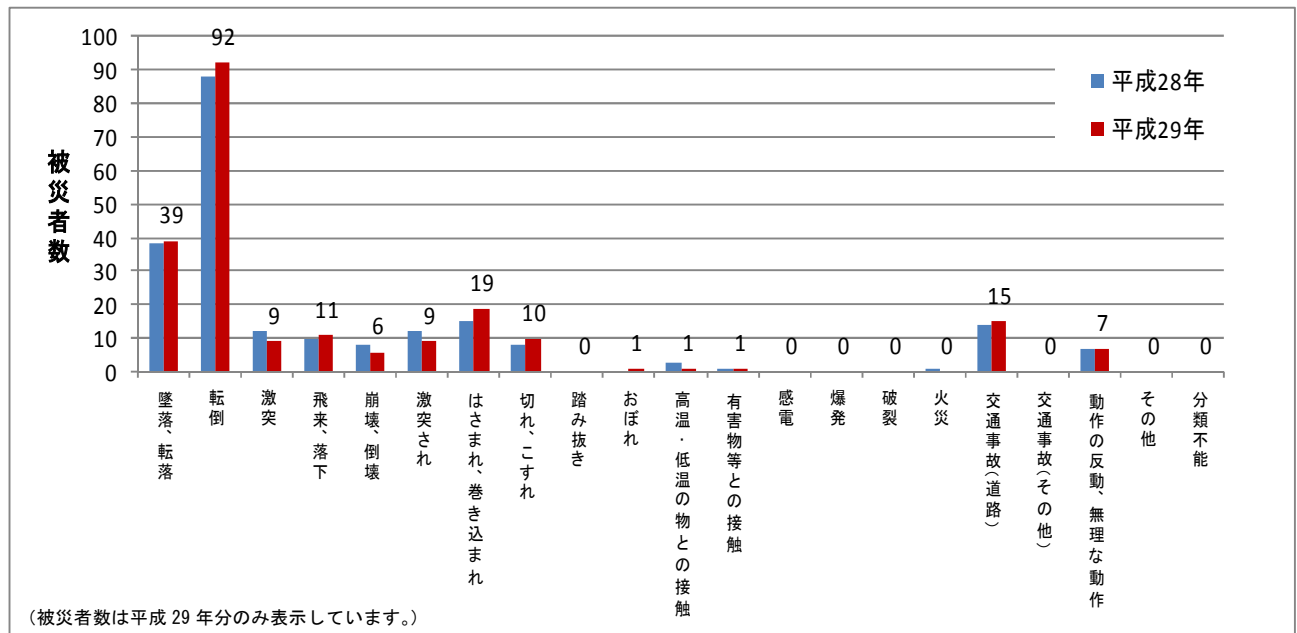
平成29年の道内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、平成29年1月末現在速報値で220人と、前年同期比3人増（1.4%増）となっています。

### （1）業種別の状況【資料4】

業種別に見ると、「商業」が35人（全体の15.9%、前年同期比7人増）と最も多く、次いで「製造業」が32人（全体の14.5%、前年同期比5人減）、「建設業」が29人（全体の13.2%、前年同期比4人増）、「陸上貨物運送事業」（道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業）が29人（全体の13.2%、前年同期比2人減）の順となっています。

### （2）事故の型別の状況【資料5】

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が92人（全体の41.8%）と最も多く、次いで「墜落、転落」が39人（全体の17.7%）、「はさまれ、巻き込まれ」が19人（全体の8.6%）、「交通事故（道路）」が15人（全体の6.8%）、「飛来、落下」が11人（全体の5.0%）、「切れ、こすれ」が10人（全体の4.5%）、「激突」及び「激突され」がそれぞれ9人（それぞれ全体の4.1%）、「動作の反動、無理な動作」が7人（全体の3.2%）、「崩壊、倒壊」が6人（全体の2.7%）の順となっています。



## 3 北海道労働局の対応

（1）平成28年の死亡労働災害は71人と対前年比6人増となりました。平成29年の死亡労働災害も1月末現在で6人と、対前年比3人増となっております。

例年、これからの時期は、「屋根の雪下ろし」や「落雪」等による死亡労働災害が発生しており、北海道労働局ではリーフレットを作成し、労働災害防止団体、建設関係団体、農業団体、商工関係団体等に対して、事業場への安全な作業の徹底について周知・協力を要請しています。

（2）平成29年1月末の死傷労働災害では、転倒災害が全体の4割を占めており、引き続き「北海道冬季災害ゼロてんとう防止運動」の取組を啓発していきます。

【添付資料】

- 1 平成29年における死亡災害発生状況[速報]
- 2 平成29年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）[速報]
- 3 平成29年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
- 4 業種別労働災害発生状況[速報]
- 5 平成29年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
- 6 署別・業種別災害発生状況
- 7 死亡労働災害の概要（前月把握分）

（リーフレット）

- 1 ストップ・ザ・雪下ろし災害！  
～屋根の雪下ろし作業を安全に行うために～
- 2 北海道冬季災害ゼロてんとう防止運動